

## 【授業改善推進プラン、1年国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習に対して全般的に意欲的である。</li> <li>○平仮名、片仮名、既習漢字についての単純な読み書きはある程度習得できている児童が多いが、文章として読み取ることには課題がみられる。</li> <li>○書く活動について、文字の正しい形の理解や文章作成能力よりも手指の運動に課題があるために、思ったことを文章に書き表す速度や、正しい字形をとることが新たに課題となってしまう児童もいる。</li> <li>○拗音、促音の読み書きは練習中である。</li> <li>○適切な助詞「は・を・へ」の活用にまだ課題が見られる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル教科書の授業の中で効果的な活用について、児童の実態に応じて適切に取り入れるための教材研究が必要である。</li> <li>○課題に応じ個々の得手不得手のばらつきがあるため、個に応じた支援の工夫が必要である。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読む、書く活動を行う際に実物投影機を効果的に活用し、全ての児童が活動内容を確実に把握できるように工夫する。</li> <li>○他教科で読む、書く活動をする際にも丁寧な指導をする。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉の意味を説明する時間を確保する。</li> <li>○毎日の音読課題の宿題への取り組みなどから、読むこと、読み解いていくことに慣れるようにする。</li> <li>○他児の作文や、感想や記録のカードなど、関心をもって読もうとする機会を多く設ける。</li> <li>○自由読書や、読み聞かせの機会を大切にする。</li> </ul>

## 【授業改善推進プラン、1年算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に学習に取り組む。</li> <li>○1から10までの数についての理解は概ね良好であるが、数量、数章と数字との一致がまだ不安定な児童もいる。</li> <li>○10までの数のたし算、ひき算の計算についてはほぼ習得できている。 若干苦手としている児童もいるが、ブロック等の操作を行うことにより答えを求めることはできる。</li> <li>○文章からの立式、解答には課題が見られる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な学習活動の際において掲示物などを工夫し、児童に視覚的にも理解を促すことが更に必要である。</li> <li>○ICT教材（デジタル教科書）を更に効果的に活用し、理解を深め魅力ある授業を行うことが必要である。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な場面で必要最低限の分かりやすい言葉での説明を行う。</li> <li>○実物やおはじきなど具体的な物を使った活動を多く取り入れる。</li> <li>○問題文の内容を的確に理解させるために、実物やおはじきなどで提示したり、子どもに扱わせたり、ICT機器を活用したりするなどの工夫を更にする。</li> <li>○式を立てさせる指導において、問題文の読解・文中の数の確認・立式の際の問題文と式の対応について、順を追って丁寧に行う。</li> <li>○解き方が分からない子どもを適宜集め、問題を解く手順を考えさせるなど、具体的にアドバイスする。</li> <li>○子どもが解決法を説明する際、必要に応じて指導者が補助をする。また、価値のある発言や質問を取り上げ、よい点を具体的に示す。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章題の内容を確実に理解させるために、「わかっていること」「聞かれていること」に線を引かせ全体で確認する。また、必要に応じて図や絵・おはじきなどを利用し、文章題理解の一助とする。</li> <li>○解き方を発表する際、初めに子どもの解き方を黒板に記す。そして、どのように解決したのか考える時間を設け、図や表・式などから解き方を読み取る力を伸ばす。</li> <li>○定義となる語彙が新たに登場した際、ノートに記載させ全員で読ませたり、当てはまる具体例を考えさせたりすることにより、新しい語彙を確実に定着させる。</li> </ul>

## 【授業改善推進プラン、1年音楽】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○歌うこと、聴くことに関心をもって取り組める児童が多い。</li><li>○打楽器の演奏を楽しみながら取り組んでいる。</li><li>○友だちの発表や演奏に関心をもって聴くことができる。</li><li>○リズム打ちなど、体を動かしながら取り組む活動に楽しんで取り組むことができる。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○鍵盤ハーモニカなどの楽器や、リズム打ちなどが苦手な児童へ、全体指導の中でも、個の技術の習得を促せるような指導を工夫していく。</li><li>○音を出せない状況での鍵盤ハーモニカの指使い、音の位置の指導について更に丁寧に行う。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○音階唱を取り入れながら、音の高さの確認をする。関係もつかませる。</li><li>○鍵盤に色シールを貼るなどの工夫を行う。</li><li>○適宜個別指導を行う。</li></ul>
読み解く力の育成	

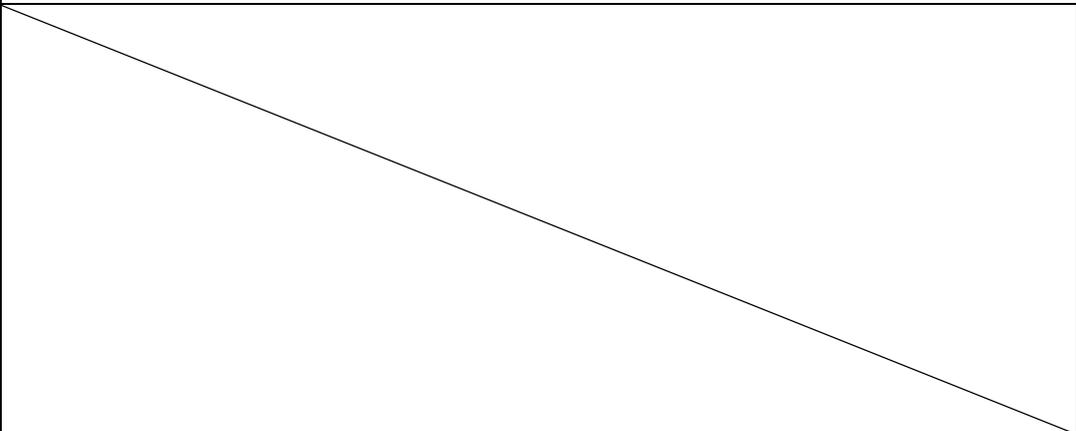
# 【授業改善推進プラン、1年図工】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○多くの児童が作業に集中して取り組むことができる。</li><li>○友達の作品の良いところを、鑑賞するのを楽しみにしていたり、自分の作品に積極的に取り入れようとしたりすることができる児童が多い。</li><li>○材料をいくつ使ってよいかなど、はじめの説明をしっかりと聞けない児童がいる。</li><li>○見本を見ながら作品づくりをしていますが、向きなどを間違えてしまう児童がいる。</li><li>○手指の技能にまだ発達段階として個々の差がみられる。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○適切に見本などを提示し、完成のイメージをもちやすくし、作業説明についての個々の理解の差を少なくする。</li><li>○手伝う度合いなど、個に応じた支援の仕方を工夫する必要がある。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○具体物の提示や実物投影機を活用し、作品を作る工程を視覚的に提示するなど、児童に分かりやすく課題を説明する。</li><li>○教材提示や説明をわかりやすくする。</li></ul>
読み解く力の育成	

## 【授業改善推進プラン、1年生活】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○身の回りのことに興味をもち、活動に意欲的に取り組むことができている。</li><li>○自ら課題を見つけたり、気付いたことを表現したりすることについて今後学習を深めていく予定である。</li><li>○五感を使って観察を行い、言葉や絵で表現できている児童が多くいる。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○植物栽培の場、飼育の場、季節を感じられる場などの場や、校外学習へ行くなどの時間を十分に確保することが必要である。</li><li>○学習教材が身近に少ない。</li><li>○児童の主体的な学習につながる授業構成を行う。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○学習の場や、教材、時間などを確保する。</li><li>○児童の興味・関心を高めるための発問や学習教材、単元構成の工夫をしていく。</li></ul>
読み解く力の育成	

# 【授業改善推進プラン、1年体育】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○固定施設を使った運動遊び、走ること、などは、とても楽しんで意欲的に取り組むことができる児童が多い。</li> <li>○短い時間内での素早い整列は、まだ練習中である。</li> <li>○勝ち負けにこだわり、ルールを守って活動に取り組むことができない児童もいる。</li> <li>○水泳の学習において、水に顔を付けることや、体全体で潜ることに抵抗がある児童もいる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動の時間と場所を確保する。</li> <li>○児童の個々の適切な距離を保ちながら、運動量を確保する。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本の運動やゲーム運動を通して、ルールを守りながら勝敗を認め、みんなと仲良く楽しく活動できるように指導する。</li> <li>○ゲーム領域の内容では、事前に映像等でイメージをもたせることで、説明の短時間化を図る。</li> <li>○教職員やボランティアの協力で、準備の短時間化を図る。</li> <li>○安全管理を徹底する。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

## 【授業改善推進プラン、1年 特別の教科 道徳】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○発言によって自分や登場人物の気持ちを伝えることができる。</li><li>○善悪の判断、公正公平について考えるなど、道徳的な思考を深める活動について意欲的な取り組みができる。</li><li>○道徳で取り上げたことを、自身の行動に反映させようと意識することができる。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○考えさせるべきことの発問の工夫が必要である。 (場面絵やデジタルコンテンツの活用法、主の発問をどうするか工夫)</li><li>○児童に主体的に考えさせるための工夫が更に必要である。</li><li>○他の児童の考えに対し耳を傾け、自身との違いに気付かせることが必要である。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○考えたいと思えるような導入を工夫する。</li><li>○登場人物の気持ちに寄り添えるための発問を工夫する。</li><li>○課題を考えることを、自分と重ねて考えることができるようにするための工夫をする。</li></ul>
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none"><li>○場面から道徳的価値を捉える。</li><li>○教材文の設定や、登場人物の心の動きを図で表す等の板書の工夫をし、そこから教材文の内容を振り返ったり、内容を読み解いたりする活動を取り入れる。</li></ul>